

広報



# まつざき

2002

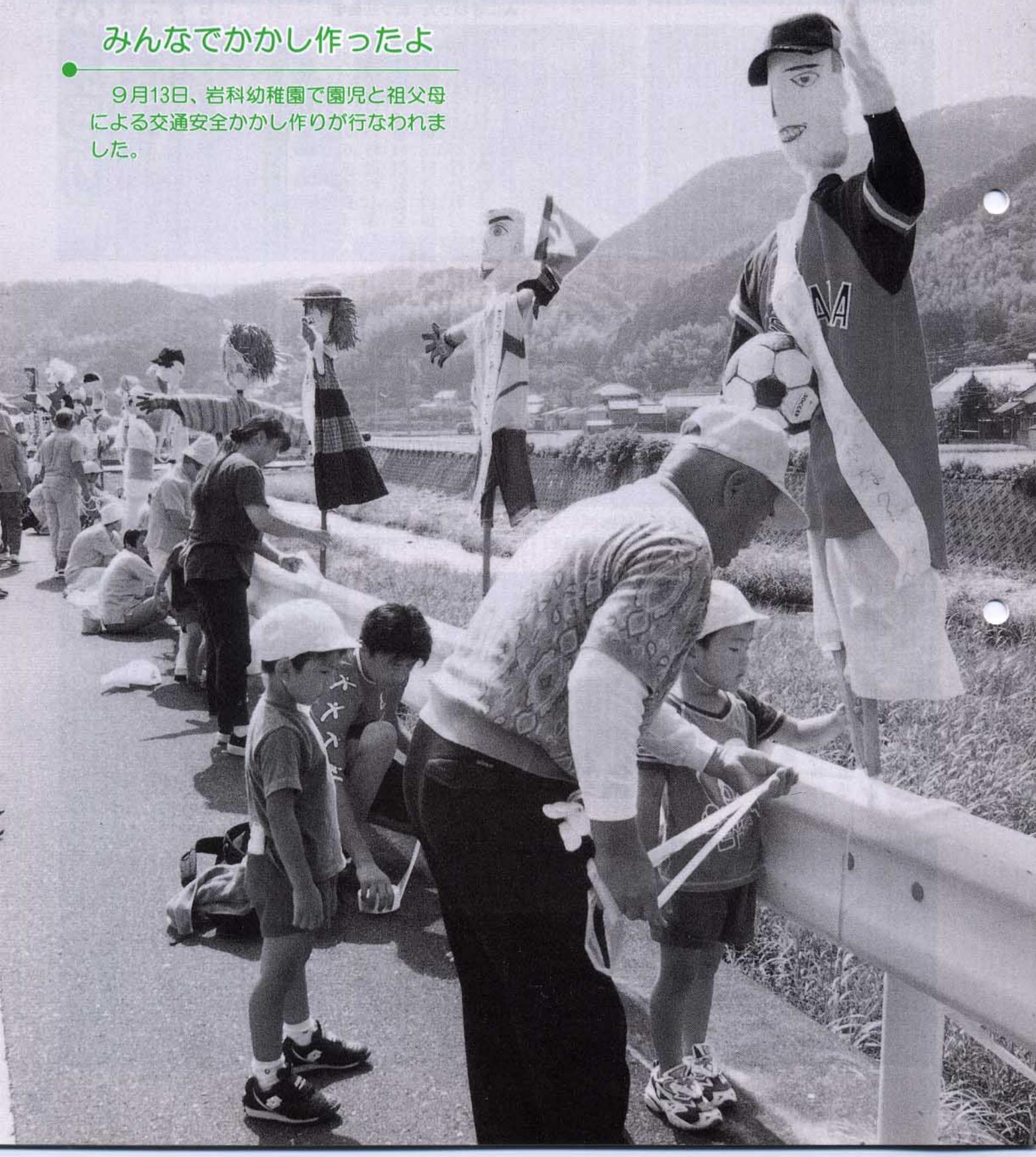
(平成14年)

# 10

No. 461

みんなでかかし作ったよ

● 9月13日、岩科幼稚園で園児と祖父母による交通安全かかし作りが行なわれました。



# 第19回 長八まつり

松崎町出身の漆喰錦絵の名工、入江長八をしのぶ「長八まつり」が九月二十日から二十二日まで開催されました。なまこ壁作り実演や全国左官技能競技大会を皮切りに期間中、多彩な催しが繰り広げられ、多くの人たちが長八の功績に触れました。



▲にぎわったまつり会場

入江長八の伝統を踏まえた作品、新しい時代にふさわしい自由な発想の作品を全国から募集した第三回全国漆喰錦絵コンクールが行われ、その審査会がおこなわれました。今回のコンクールには、十八都県から四十九点が出品され、うち町内からは十二点の応募がありました。

九月十二日に審査会が行われ入賞作品十五点を選びました。審査には、富山大学教授の丹羽洋介さん、(社)日本左官業組合連合会長の池本孝さん、助ベルナル・ビュフェ美術館参事の安達めぐみさんら六人があたりました。

入賞作品は、十月三十一日まで長八美術館特別展示室に展示されています。

## 第3回 全国漆喰錦絵コンクール



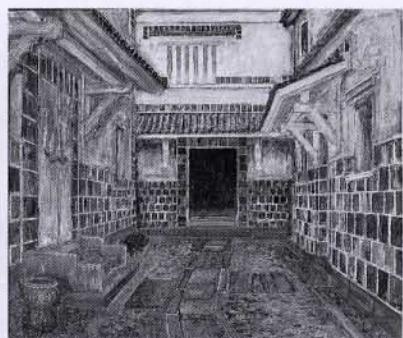
▲優秀賞「ナマコクラゲカベ」  
松崎洋子さん(富山県富山市)



▲優秀賞「暁光」  
塩川甲子夫さん(神奈川県横浜市)



▲優秀賞「のんびり」  
寺尾春美さん(愛知県春日井市)



▲最優秀賞「蔵の風景」  
青葉直一さん(静岡県豊田町)

制作された錦絵は長八まつりに「現代の名工」に選ばれた山本堪一さん(道部)による明治商家中瀬邸の土蔵壁面に「現代の名工」に選ばれた山本堪一さん(道部)による



▲錦絵コンクール審査会場で



▲山本堪一さんと錦絵(中瀬邸で)

りの一環として一ヵ月前から作業が進められてきました。観音開きの二枚の扉には、芙蓉の花に集まる力モが描かれています。作品には、力モが集まるように、町にも多くの人が集まつてほしいとの願いが込められています。

この度、第3回全国漆喰錦絵コンクールにおきまして、最高の賞をいただき、本当に驚いています。



今回の作品製作にあたり、今の左官職の現状を思いつつ、

美しかった日本の風景、日本の町並み、日本の建築仕事を漆喰の素材で表現したく始めたものの製作途中で行き詰まり、絵の具に頼ってしまいました。締め切りは迫り、自分の意のままには表現できずじまいですが…。

今年は、私にとって、還暦の年でもあり、記念すべき年となりました。ありがとうございました。

## 左官職人の技展

## 長八フェスティバル



▲長八墓前供養祭で



▲にぎわった静岡新聞号外コーナー



▲全国左官技能競技大会会場で



▲人力車に乗ってニッコリ



▲漆喰錦絵に挑戦



▲ナイトミュージアムも好評



▲白バイに乗って記念撮影

この大会は、有能技能工の確保や伝統技能の継承を目的に開催されているもので、全国十ブロックから選抜された優秀選手十人が、課題作品の製作に取り組みました。

競技は、高さ約二・二㍍、幅約二㍍、奥行き約七十七㌢の課題の天井や壁、柱などを仕上げるもので、参加者たちは延べ三日間にわたり、巧みな技を競いました。会場には、全国から多数の関係者が詰めかけ作業に見入りました。

審査の結果、東海ブロック代表の粥川善春さん(岐阜県)が優勝しました。

優勝者には、町長から長八賞が贈られました。



▲金魚すくいコーナーで

菩提寺、浄感寺では参列者が献花と焼香を行い、しめやかに供養祭が営まれました。

長八美術館の野外ステージでは、自衛隊富士学校音楽隊による演奏などが行われたほか、広場では、ドンツク太鼓塾!!の演奏、漆喰錦絵の体験コーナーや地場産品の直売など多彩な催しが繰り広げられました。長八美術館、長八記念館は当日無料開放され、多くの入館者でにぎわいました。

また今回は、静岡新聞移動編集局がまつり会場に開設され、その場で発行される号外にも人気が集まりました。

まつり期間中、中宿通りでは、実際の堀を使ったなまこ壁作りの実演も行われ、伝統的な左官技術の製作風景が一般に公開されました。



▲陸上自衛隊富士学校音楽隊の皆さん



▲最後は恒例の餅投げ



▲郵便局コーナーでユウちゃん、アイちゃんと

# いつまでもお元気で

## 敬老の日 長寿を祝う

孫とひこに囲まれて

居合で健康管理

老人会活動に精進



▲中川小学校体育館で



▲敬老会会場へは人力車で

以上の高齢者は、百三十五人でした。(八月一日現在)

今年度、満七十歳以上になられた方を対象に九月十四日から十六日にかけて町内十六会場でお祝いの行事が行われました。

敬老会会場では、踊りや歌など趣向をこらした催しが行われ楽しいひとときを過ごしました。

今年の対象者二千九十二人の中、喜寿(七十七歳)該当者は百二十二人、米寿(八十八歳)が二十七人、九十歳でした。(八月一日現在)

今年度、満七十歳以上になられた方を対象に九月十四日から十六日にかけて町内十六会場でお祝いの行事が行われました。

敬老会会場では、踊りや歌など趣向をこらした催しが行わ

れ楽しいひとときを過ごしました。

今年の対象者二千九十二人

のうち、喜寿(七十七歳)該

当者は百二十二人、米寿(八

十八歳)が二十七人、九十歳

でした。(八月一日現在)

歌ったり、踊ったりするのが好きで老人会のカラオケや社交ダンスに通っています。詩吟や大正琴、民謡などの指導に他町村へ出かけることもあります。食べ物の好き嫌いも無く、二十歳から五十年間、体重は五十キロで一定していました。



北区 小林重男さん (79)



池代 鈴木とくのさん (88)

昨年、大病をし入院生活を送りましたが、今では体調も回復し、老人会の輪投げや仲間と話しをしながら楽しい日々を過ごしています。

歌と踊りで 健康づくり



松尾 中村節子さん (77)



江奈1 船津今夫さん (76)

居合道大会では、個人演舞七段の部で優秀演舞賞に選ばれました。これからも生活の一

部として居合に関わり続けていきたいと思っています。

散歩とカラオケで 健康維持



江奈2 土肥ミヨさん (90)



岩地 齋藤まつゑさん (80)

山石地で開業していた魚屋をやめて十年になります。最近は、岩地老人会「天寿会」の会長として花壇の管理や、お宮さんの清掃などにあたっています。老人会のメンバーは、現在三十人以上いますが、ぜひ男性にも加わっていただけたらと思います。

人力車で昔をしのぶ

朝五時に起床し、近所の仲間と一緒に散歩をするのが日課です。

カラオケ教室にも週一回通い歌の指導を受けています。

十一月には、東京で開かれるカラオケ大会に出場する予定です。元気なうちは、歌い続

けていきたいです。

大正時代に沼津で人力車に乗りましたが、今年の敬老会で人力車に乗せていただき昔を思い出しました。

# 交通安全全ポスターコンクール

## 【小学校低学年の部】

## 【小学校高学年の部】



小・中学生の夏休み課題として募集した交通安全ポスターコンクールの審査会が九月六日、環境センター文化ホールで行われました。

このコンクールは、交通安全ポスター作成により、家族ぐるみで交通安全意識を高めてもらうことを目的に開催されています。

今回は、三百七十点の応募があり、町長、松崎警察署交通課長、各学校の美術担当教諭らが審査にあたりました。

各部門ごとの入賞者は次のとおりです。

●中学生の部	
最優秀	松本紗希（一年）
優秀	高木佑規（一年）
秀作	船津弘子（一年）
秀作	岩谷理恵（一年）
秀作	斎藤郁美（一年）
秀作	佐藤暁子（一年）

●小学校中学年（三・四年）の部	
最優秀	小嶋謙太（松小三年）
優秀	斎藤諒太（中小四年）
優秀	伊東龍之介（中小三年）
佳作	宮本ゆりか（松小四年）
佳作	藤井理瑳（松小四年）
佳作	平野志織（松小四年）

## 【小学校中学年の部】



【評】 絵と文字が明快。明るい感じがよい。



【評】 緊迫感がある。視点がよい。



最優秀  
松崎小3年  
小嶋謙太くん

【評】 色が明快で字が目立つ。  
斜めの横断歩道がよい。



最優秀  
松崎中1年  
松本紗希さん

【評】 絵と人物がはっきりしていて目立つ。  
明快に表現されている。



▲交通安全を誓う大会

● 静岡県警察本部長・財静岡県交通安全協会会長連名表彰  
《功労者》  
高橋濱雄（雲見）

## 交通安全を誓う大会

交通安全を誓う大会が九月二十日、外部の交通安全誓いの塔前の広場で行われました。この大会は、毎年秋の交通安全運動に合わせ開かれているもので、西豆三カ町村の関係者が出席しました。

会場では、交通安全誓いの言葉や宣誓などが行われ、交通安全への認識を新たにしました。また、大会では優良運転者などへの表彰も行われました。松崎町関係の被表彰者は次のとおりです。

松崎町関係の被表彰者は次のとおりです。

## 町指定ごみ袋の種類が増えます

町では、平成十二年度から分別収集を開始し、それと同時に指定袋を定めて、分別の徹底とごみの減量化に努め、皆様方にもご協力いただけたところです。

しかしながら、若年層の流出や高齢化による一人世帯の増加等により、現行の袋（七十枚、四十五枚、三十枚の三種類）では大きすぎると、その下のサイズの袋を希望する意見が寄せられるようになつてきました。そこで、十月から新たに十五枚の袋を追加することといたしました。

ごみの量や種類に応じてご利用下さい。

ところで、最近のごみの状況をみると、水切りの不十分なごみが目立つてきました。分別が進み、可燃物であつた紙類がリサイクルされることで、ごみそのものが燃えにくくなつてきています。燃焼効率を上げるために、生ごみの水切りをお願いすると共に、更なるごみの減量化にご協力を下さるようお願いします。

## 松崎中学校「あすなろ賞」受賞



▲昨年の「第九を歌おう！」

松崎中では、全校生徒による合唱『ベートーヴェンの第九』に取り組み、地域の皆さんや文化協会音楽グループの方々と活動を続けています。このほど、静岡新聞社・SBS静岡放送より、地域に根ざした音楽コンサートを開催し、地域文化向上にも貢献していることが認められ「あすなろ賞」を受賞しました。

今年で第三回目となる「第九を歌おう！」は十二月十七日に環境センターでの開催を予定しています。

松崎中では、音楽の輪がますます広がるようにと皆様の参加を呼びかけています。

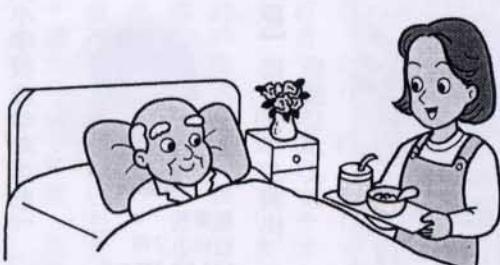
**在宅老人介護用具等給付(貸付)事業について**

町では、在宅の介護を必要とする高齢者(六十五歳以上)の方に対し、その経済的負担の軽減を図り、本人及びその家族の福祉の向上を目的として、紙おむつや使い捨て手袋などの介護用品の購入費用の助成事業を開始します。その世帯の収入状況(課税状況)に応じた費用負担が必要となります。

対象品目・限度額など詳しく述べ、役場健康福祉課までお問い合わせ下さい。

【問合せ】健康福祉課

☎ 四二一三九六六



参加者たちは、大型バス五台に分乗し、男女年代も様々で、家族連れや友人グループで大賑わいででした。

ゴール会場に集まつて来るウォーカーの皆さんたちは、皆ニコニコ笑いながらとても楽しそうに見えました。

最近観光客の減少傾向が続くなかで、だれもが気軽に参加できるウォーキングイベント

## 町長室からこんにちは(10)



▲人気のウォーキングイベント

**体験型観光への期待**

九月十五日敬老の日、中川地区の敬老会会場から長八美術館前に直行した。現地では、ウォーキングイベントの閉会式が行われ、参加者の皆さんに松崎来町に感謝し、次回のお越しをお願いしたところです。

伊豆半島花&てもぐウォーキングと銘打つたこのイベントは、重文岩科学校を出发して弁天島を折り返し、長八美術館をゴールとする総延長約七キロ、二時間の行程でした。

体験型観光志向の高まりの中で、わが町の観光資源として新しいハイキングコースを整備し、交通機関やマスコミなどとタイアップしたイベントを展開できれば、観光客の増加にもつながるのではないかと感じた次第です。

キンギングイベントは、これらの観光形態のひとつ目の玉として注目されていくのではないかと感じさせるものがありました。

松崎町長 深澤 進

## 【10月の救急当番医 西伊豆地区】

■は日曜・祝祭日 \*時間等は当番医で確認して下さい。

月日	外科系	内科系	月日	外科系	内科系	月日	外科系	内科系
10. 5 . 6	西伊豆病院 ☎52-2366	菊池医院 ☎42-2811	. 14	西伊豆病院 ☎52-2366	田子診療所 ☎53-1555	. 19 . 20	石田医院 ☎42-0078	安良里診療所 ☎56-0016
. 12	池田医院	安良里診療所 ☎56-0016	. 19 . 20	西伊豆病院 ☎52-2366	中江医院 ☎42-0025			
. 13	—							

## 保健師だより

今後の乳幼児予防接種は、下記のとおり予定しています。

インフルエンザ予防接種を受ける予定のお子さんは、接種間隔にご注意下さい。

予防接種	予定時期	対象児
麻疹	10月初旬	H12.11.1～H13.10.31生及び未接種児
風疹	12月中旬	H12.11.1～H13.10.31生及び未接種児
三種混合	1月下旬 ～ 3月下旬	(初回) H13.7.1～H14.7.31生及び未接種児 (追加) H8.1.1～H13.6.30生及び未接種児

### 接種間隔

麻疹・風疹 → 4週間あける  
インフルエンザ → 1週間あける  
インフルエンザ → 麻疹・風疹

また、満65歳以上のインフルエンザ予防接種費助成は、11月から予定しています。

【問合せ】健康福祉課 ☎42-3966

## 今後の予防接種予定

## わぼくたち △シ歯はないよ！

### 《9月の3歳児健診》

今回の健診でムシ歯のなかったお子さんです。



山本美彩希ちゃん  
(江奈1)



土屋咲耶ちゃん  
(江奈2)



石垣優里花ちゃん  
(東区)



須田青葉ちゃん  
(桜田)



中谷海斗くん  
(吉田)

## 市町村合併住民説明会が開催されます

市町村合併については、これまでも広報紙などでお知らせしていましたが、より一層皆さんとの理解を深めていただくとともに、町民の皆さんとの声を聞き、市町村合併に対する方針決定の参考にするため、地区説明会を開催します。

説明会は、町内5会場で開催が予定されていますが、詳細の日程につきましては、今後回覧で皆様にお知らせします。

松崎町の将来について考える絶好の機会ですので、多くの皆さんの参加をお待ちしています。

## 松崎文芸

### 短歌

やや良と聞きし稻田の出来栄えを見つ夜明けの道を行きた  
台湾の国慶節に逢ひ得たり息子夫婦と三人の旅

佐藤丈夫

台風七号も去りて西伊豆の空青し南部風鈴すずやかに鳴る

坂倉のぶ

ながかりし花どきを終へて胡蝶蘭はねむるがごとく花びらを

船津きく

聞ぢる

今日が一番若い日なりとパソコンを始めてみたり八十歳なれど

地下足袋をはきしが戻りて今一度ガスの元栓を確かめてみる

はるじふ

遠き日に酌み交したる盃か忘れぬし時間のゆっくり戻り来

いは

ねむの木の眠れるを見てはとほき日の麦わらを燃やす香を

なつかしむ

もぎたての胡瓜の味はみづみづと藍の香のする浴衣にも似る

平馬文枝

山本しづ子

中村宣子

高橋浪子

ご意見をお寄せ下さい

## 町民の広場

今回は、中学生から寄せられた意見を掲載しました。

役場へのお問い合わせは  
各課直通電話へどうぞ

議会事務局 42-3961  
町長公室 42-3962  
総務課 42-3963  
商工観光課 42-3964

産業建設課 42-3965  
健康福祉課 42-3966  
町民課 42-3967  
税務課 42-3968

生活環境課 42-3969  
出納室 42-3970  
教育委員会 42-3971  
振興公社推進本部 42-1881

町へ望むこと

松崎中一年一組

高橋樹生

ぼくが松崎町へ希望するこ  
とはゴミの回収です。

最近川や道路、山、海を見  
ているとゴミが捨てられています。これが目につきます。なかで

も海と山がひどいと思います。

山の中には、カン、ピンなど  
の電化製品も捨てられていま  
す。

海は、特に松崎海岸がひど  
いと思います。遠くから見る  
とそこだけ緑色になつていて  
のに気がつきました。泳いだ  
こともあります。鉄クズや  
ビニールの袋がありました。  
ゴミをむやみに捨てないの  
はもちろんですが、住みよい  
環境を作るためにゴミの回収  
をしてほしいです。そうすれば  
自然に緑あふれる豊かな町  
になつていくと思います。

町について思うこと

松崎中二年二組

ぼくは、この町が好きです。

自然がたくさんあるからです。  
でも、松崎町の自然は、だん

毎月第三日曜日が花の日と  
なつていて、各地区で色々な  
花が咲く町になつていくと思  
います。

町について思うこと

松崎中二年二組

ぼくは、この町が好きです。

自然がたくさんあるからです。  
でも、松崎町の自然は、だん



▲花の咲く町に



▲町と警察による不法投棄パトロール

作業が行われています。観光客が捨てたペットボトルやジユースなどの空き缶を拾い集めたり、道路端の草を刈ったり、枝を切つたりと、大人が一生懸命きれいにしてくれています。こういうことは、とてもいいことだと思うのでこれからも続けていてほしいと思います。

それから、松崎町は、花がとてもきれいだと思います。春には、菜の花、桜、そして田んぼ一面に咲く色々な花などがとてもきれいです。これらからも花がきれいに咲くようにしていてほしいです。

もう一つ気がついたことで、外灯が消えている、つまりせつから外灯があるのに明るくついていない箇所が多いことがあります。電車などが走るようになれば渋滞もなくなり快適だと思います。

それと、各教室にエアコンが付いたらしいと思います。冷水機もほしいです。ちょっとせいたくかもしれません。こんな設備があつたら最高です。

給食もときには、すごい料理などが出るといいます。給食をとても楽しみにして学校に来ている生徒もいるので、豪華メニューの給食が時々出るようぜひ支援してほしいです。

松崎中三年一組

斎藤匡紀

が少ないうえ、消えている所があつたりします。那賀バイパスも同じです。時々点検して直してほしいと思います。松崎町がこれからも明るく住みよい町になつていくようになんばつて下さい。

小学校は、各地域にあり通学も便利でしたが、中学校からはバス通学となり、バス代など経済的な負担も多くなつてきました。できればバスの料金をもう少し安くしてほしいと思います。電車などが走るようになれば渋滞もなくなり快適だと思います。

それと、各教室にエアコンが付いたらしいと思います。冷水機もほしいです。ちょっとせいたくかもしませんがこんな設備があつたら最高です。

給食もときには、すごい料理などが出るといいます。給食をとても楽しみにして学校に来ている生徒もいるので、豪華メニューの給食が時々出るようぜひ支援してほしいです。



# —町のできごと—



**9/1 (日)** 東海地震を想定し  
総合防災訓練

東海地震を想定した総合防災訓練が町内各会場で行われ、約三千五百人が参加しました。

総合グランドと松崎高校グランドでは周辺十一地区的住民が参加し会場型訓練が行われました。松高会場では、消火器を使つた初期消火訓練をはじめ、津波に関する防災ビデオが上映されました。また、総合グランド会場では起震車による地震体験などが行われました。

**9/8 (日)** 捩り出し物盛りだくさん  
第七回海のピカ市大盛況

商工会青年部主催による「第七回みなどみんなと海のピカ市」が松崎港周辺で行われました。

地域を明るく元気にすると共にリサイクルの心を養おうと平成八年から始まつた海のピカ市も地域のイベントとして定着しました。

松高会場では、リサイクルマーケットに加え、馬車や引き馬なども初めて運行され、人気を集めました。

**9/14 (土)** 勇壮な太鼓の響きで魅了  
伊豆半島太鼓フェスティバル

第三回伊豆半島太鼓フェスティバルが松崎海岸の特設ステージで開かれました。この催しは、和太鼓のすばらしさを通して町を活性化しようと松崎21世紀フォーラムにより企画されたもので、伊豆地区で活動する六団体が出演しました。小雨交じりの天候のなか、周囲にかがり火がたかれたステージでは、各団体による力強い太鼓の響きと華麗なバチさばきが詰めかけた観客を魅了しました。

**9/20 (金)** くろしおくんに乗って  
きょうは、「バスの日」

明治三十六年九月二十日、京都で日本初の六人乗り蒸気式バスが走り始めたことから、九月二十日を「バスの日」と定めて十五年目を迎えました。西伊豆東海バスでは、この日を記念して三浦幼稚園の園児を招待し、くろしおくんへの体験乗車を行いました。園児たち十五人は、石部から下田ロープウェー間を往復し、車窓から見える景色に大喜びでした。

10月

暮らしおカレンダ

24	23	22	21	20	19	18	17	16	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	
木	水	火	月	日	土	金	木	水	火	月	日	土	金	木	水	火	月	日	土	
行政相談 (生) 一〇:〇〇 ~				農業委員会 (環) 八三〇 ~西伊豆町保健センター 九一五	パパママセミナー (環) 八三〇 ~	園芸講座 (環) 一三三〇			生涯学習セミナー (環) 一九三〇	特設人権相談 (福) (生) 一〇:〇〇 ~	健康相談 (福) (生) 一〇:〇〇 ~	町民体育大会 (松崎小学校) 八二〇	雲見海賊料理まつり (雲見海岸) 九〇〇			無料法律相談 (環) 一〇:〇〇 ~				

## 10月は「高齢者雇用促進月間」です。

県内各ハローワークで中高年齢者等を対象とした求人開拓や就職面接会を実施します。

【問合せ】下田ハロー  
ワーク ☎22-0288

## 再就職準備セミナー

伊豆県行政センターでは、再就職を希望する方を対象にしたセミナーを開催します。

【対象者】再就職を希望する方  
(3日間出席できる方)

【日 時】10月21日(月)~23日(水)  
午前10時~午後4時

【会 場】下田総合庁舎

【定 員】20人(先着順)

【問合せ】伊豆県行政センター

☎24-2004

ねこについての苦情  
が寄せられています

ねこのトラブルは飼い主の知らないところで起こっています。あなたの飼いねこは近所に迷惑をかけていませんか。ご近所とのトラブルを避けるためにも飼い主の目の届かない無責任な放し飼いをやめ、ねこは室内飼いをして下さい。また、野良ねこがかわいそうなどの理由で、エサをやったりすることもトラブルのもとになります。

飼えなくなったねこや飼い主のわからないねこについては、月2回の引き取り日があります。

【問合せ】生活環境課 ☎42-3969

行政相談月間  
10月21日~10月27日

毎日の暮らしの中で役所などの仕事に対して苦情や要望、意見はありませんか。

「苦情はあるが、直接役所へは言いにくくて・・」「どこへ申し出でいいのかわからない・・」という方は、行政相談員にお話し下さい。

このような行政に対する町民の意見を聞いて解決するのが「行政相談員」です。相談は無料で秘密は守られます。

【行政相談員】近藤二郎  
松崎町松崎216-1 ☎42-1880

全国地域安全運動  
10月21日~10月20日

地域安全活動は「安全で安心して暮らせる社会」を実現するために『地域の安全は地域の皆さんのがんばりで』という地域の皆さんの自主的な活動として犯罪や事故を未然に防止する活動です。松崎警察署でも

☆高齢者世帯への悪質商法被害防止活動  
☆「子どもを守る家」の設置及び広報活動  
☆自転車盗・オートバイ盗・車上狙いの被害防止活動など、地域の実情に沿った身近な問題の解決に取り組みます。

## 第28回 雲見海賊料理まつり

【日時】10月13日(日)午前9時~

【場所】雲見海岸

【内容】カジキマグロが豪快に解体され、刺身として振る舞われるほか、浜に設置された特製コンロで焼く、海鮮バーベキューなどが楽しめます。

【問合せ】雲見観光協会 ☎45-0844

## 第36回 町民体育大会

【日時】10月14日(月)午前8時20分~

【場所】松崎小学校グランド

【問合せ】教育委員会 ☎42-3971

## 行政書士強調月間

行政書士は他人の依頼を受け、報酬を得て、官公署に提出する書類や権利義務又は事実証明に関する書類を作成することを業とします。また、作成した書類を官公署への提出代行や書類の作成業務について相談に応じることを業とすることができます。

10月は、行政書士制度強調月間です。この期間中、町内の行政書士会員は、各事務所において無料相談に応じています。お気軽にご利用下さい。



## 広報あれこれ

桜田の温泉やぐらの近くに田んぼを見回る二人の人影が・・・。よく見ると二体のかかし。製作者の武田勝彦さん（寄り道売店）にお話を伺うと、男の方が武田さんの作品で、女の方が武田さんのお姉さんの作品とのこと。肩のあたりの丸みを出すのに苦労したそうです。

「スズメより近くを通る人間の方がだまされたようです」とは武田さんの弁。「来年はかかるの数も増やして、ひょっとしたら動くかもしれませんよ」とも付け加えた。

(馬)



▲二体のかかし（桜田で）

キュウリ、ミニトマト、ナス、ピーマンの四種類の苗を、それぞれが一本ずつ、自分の手で植えていきました。登校すると、各自がペットボトルで水を運び、自分の苗の根元を潤しました。自分の苗と、友達の苗の成長を比べ、小さな成長に胸躍らせながら、観察を続けました。

がこんなに成長するには驚かされました。金曜日の帰りに小さな実をつけたかと思うと、土・日とおいて、月曜日の朝見ると、なんと、もう収穫できる大きさに成長しているのです。キュウリの早い野菜だということを感じた瞬間です。自分が世話ををして育てた野菜を、その茎から切り離す時の、満足げな子供たちの表情が、いつまでも心に残っています。

## おめでとう金婚式 No.63

昭和27年10月婚姻届のご夫婦を紹介します。

菊池 恭平さん（83歳）  
あや子さん（82歳）

一松 尾

昭和27年10月2日婚姻届出

地区	氏名	年齢	届出日
桜田	佐藤 昭二 てつ	75歳 71歳	10.10

## 町の人口と世帯

(平成14年9月1日現在)

総人口	8,906人 (+11)
男	4,217人 (+4)
女	4,689人 (+7)
世帯数	3,145戸 (-1)
転入	23人
出生	5人
転出	9人
死亡	8人

（）内は前月比

(8月分)  
戸籍だより

## おめでとうございます(出生)

地区	氏名	性別	保護者
那賀	ハルミ	女	土屋 裕通
江奈2	アヤ彩	男	森 寿彦
野田	コウ功	男	斎藤 良彦
南郷	ユメ夢	女	矢吹 仁史
中区	ユウ友	男	山崎 聖仁

## おくやみ申し上げます(死亡)

地区	氏名	年齢	届出人
宮内	矢口 正文	67	愛子
道部	岩田 景章	78	佐登江
江奈2	高柳とし子	80	運平
北区	小俣 有文	61	和子
門野	山本 知誠	75	正子
伏倉	藤池 菊枝	86	権太郎
峰輪	細田 傳吉	77	とめ子
金沢	佐藤 千秋	86	うら

※この欄に掲載を希望されない場合は、お申し出ください。

## 学校ひろば

(17)

三浦小学校  
四五一〇〇一

## 元気に育て 野菜たち

二年生は生活科の学習の中で、野菜を作ることになりました。始めに確認したことは、二年生なりに、自分たちの力でできることは、自分たちでやることで、荒れた畠の整備から始めました。固い土の中に、石がごろごろしていて、それを取り除く作業は予想以上に大変でした。やっと畑が整備され、そこに、



そのうち、自分から図鑑を借りてきて、次はどんなふうに成長していくのかと、興味深げに調べ始める人も出てきました。待望の実がなった時は、歓声が三浦小の校庭に響き渡りました。

中でもキュウリ

には驚かされました。金曜日の朝見ると、な

ど、もう収穫

できる大きさに

成長しているの

です。キュウリ

がこんなに成長

するには驚かされました。

早い野菜だということを実感した瞬間です。自分が世話を

をして育てた野菜を、その茎から切り離す時の、満足げな

子供たちの表情が、いつまで

も心に残っています。